

適用規格		MIL-STD-348B					
定 格	使用温度範囲	-55℃ ～ +125℃ (95 %RH以下)		保存温度範囲	-20℃ ～ +70℃ (90 %RH以下)		
	電 力	-- W		特性インピーダンス	50 Ω (0 ～ 30 GHz)		
	特 殊 性	----		使用ケーブル	----		
性 能							
	項 目	試 験 方 法		規 格		QT	AT
構 造	外観、構造、仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。		図面と合致していること。		○	○
	表 示	目視にて確認する。				—	—
電 氣 的 性 能	接 触 抵 抗	100 mA(DC or 1000 Hz) 以下で測定する。		中心コンタクト 6 mΩ 以下 外部コンタクト 6 mΩ 以下		○	○
	絶 縁 抵 抗	DC 500 Vで測定する。		1000 MΩ 以上		○	○
	耐 電 圧	AC 500 Vの電圧を 1 分間印加する。 (漏洩電流 2 mA以下)		せん絡、絶縁破壊がないこと。		○	○
	電 圧 定 在 波 比	周波数 0 ～ 30GHzにて測定する。		V. S. W. R. 1.5 以下		○	—
	1						
機 械 的 性 能	挿 入 損 失	周波数 - ～ - GHzにて測定する。		--- dB以下		—	—
	単 体 挿 抜 力	φ の鋼製ピンで測定する。		挿入力 --- N以下 引抜力 --- N以上		—	—
	総 合 挿 抜 力	適合コネクタで測定する。 [適合コネクタ：SMPJ-HKJ]		挿入力 45 N以下 引抜力 9 N以上		○	○
	1					○	○
	繰 り 返 し 動 作	500 回の抜き差しを行う。		①接触抵抗： 中心コンタクト 12 mΩ 以下 外部コンタクト 12 mΩ 以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—
	1						
	耐 振 性	周波数 10 ～ 500 Hz, 片振幅 0.75 mm, 加速度 98 m/s ² で 3 軸方向各 10 サイクル 試験する。		① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—
	1						
	耐 衝 撃 性	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 軸方向各 3 回試験する。				○	—
	1						
環 境 的 性 能	ケーブルクランプ部の 引張り強度	- mm/分でケーブル軸をケーブル抜け、断線が 発生するまで引張り、最大荷重を確認する。		最大荷重 -- N以上		—	—
	温湿度サイクルの 耐 湿 性	温度 +25 ～ +65℃, 湿度 90 ～ 98 %中に 10サイクル (240 時間) 放置する。		①絶縁抵抗： 100 MΩ 以上 (高温時) ②絶縁抵抗： 1000 MΩ 以上 (乾燥時) ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—
	1						
	温 度 サ イ ク ル	温度 -55 → - → +125 → -℃ 時間 30 → 3 → 30 → 3 分 を5 サイクル試験する。		破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		○	—
1							
塩 水 噴 霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。		V. S. W. R. 1.5 以下 [0～30GHz]		○	—	
	1						
	△の数	訂正記事		設計	検図	年月日	
△	1	DIS-D-00003210		TK. SAWAGUCHI	KY. SHIMIZU	18.06.07	
備考				承認	TO. KATAYAMA	18.03.20	
RoHS適合品				検 図	KY. SHIMIZU	18.03.20	
注 1 基板実装後の性能となります。				担 当	TK. SAWAGUCHI	18.03.19	
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512を適用している。				製 図	TK. SAWAGUCHI	18.03.19	
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目				図 番		SLC-373488-01-00	
HRS	製 品 規 格 表		製 品 名		SMP-PR (LD) -SMT-1 (01)		
	ヒロセ電機株式会社		製 品 コード		CL338-1103-0-01		
						△	1/1